



Cambodia
Opera Project

P.マスカリーニ作曲

カヴァレツリア・ルスティカーナ (田舎の騎士道)

2018年9月28日 & 29日

(28日はカンボジア文化芸術省による招待制学生向け公演)

ソフィテルホテル プノンペン



65th Anniversary
of Diplomatic Relations between
JAPAN & CAMBODIA



JACAM カンボジア日本人会
JAPANESE ASSOCIATION FOR PROMOTION OF
EDUCATION AND CULTURE BUSINESS IN CAMBODIA
HP: <http://www.jacam.cc/>



サントウツア:

岩崎 愛

トゥリッドウ:

クオン・セティサック

アルフィオ:

増原英也

ローラ:

イー・マリネ (28日) / 前坂美希 (29日)

ルチア:

神内真理

指揮:

飯坂 純

演出:

ヴィンチェンツォ・グリゾストミ・トラヴァリーニ

スーパーヴァイザー:

カンボジア王国・ラヴィヴァッダナ・モニポン・シソワット王子

オーケストラ:

カンボジアオペラプロジェクト・スペシャルオーケストラ

合唱:

プノンペン在住者による有志合唱団、カンボジア王立芸術大学学生有志、日本人選抜合唱団

主催: カンボジアオペラプロジェクト実行委員会 / 一般社団法人日本・カンボジアクラシック音楽協会

後援: 在カンボジア日本国大使館、カンボジア日本人会、カンボジア日本人商工会、国際交流基金アジアセンター

カンボジア日本人材開発センター(CJCC)、カンボジア文化芸術省、カンボジアイギリス人商工会

協力: カンボジア王立芸術大学、ワールドシップオーケストラ、アンコールユースオーケストラ



Musica
日本・カンボジアクラシック音楽協会

カンボジアオペラプロジェクト概要

— 2018年における事業目的 —

【オペラを通して、日本とカンボジアの芸術文化の交流】

- ・人類が英知の結晶を集め合わせて創造した、至高の芸術『オペラ』。世界では国家の威信をかけ、公演の質を競い合っております。芸術文化は人類の心の豊かさを計るバロメーター。感受性の豊かな市民に是非、本物の芸術を体験させる場を構築致します。
- ・日本におけるオペラ文化はヨーロッパから遅れる事、数世紀。日本ではこのギャップを明治維新から取り戻すべく奮闘。悲しい戦争の後、普及の速度を一気に加速し、今や本場ヨーロッパに人材を輩出するまでの発展を遂げています。これら歴史上の経験をカンボジアに供与したいと考えます。
- ・カンボジア初の本格的なオペラ公演を遂行し、カンボジア国民には、関心の薄い、クラシック音楽鑑賞・演奏を、より身近に感じてもらう集中力を提供。ヨーロッパ文化に根付く、良き価値観、地域性、レガシー、そして台本から読み取れるストーリーと、その背景にあるアイデンティティ、登場人物への理解を深め、教訓から得られる、道徳的な感性を高めます。

【カンボジア国内のクラシック音楽、舞台芸術の水準の向上】

- ・カンボジアにおける、クラシック音楽・オペラの創造的可能性を探究し、オペラの制作上演活動等を通して、その現代的意義及び将来への展望を現実のものとする努力によって、より広範な芸術活動を推進し、文化の創造的発展に貢献する事を、その目的と致します。
- ・「音楽専修者・愛好者への基礎教育」「より高度な知識と演奏力と解釈力を持つ、力量に合わせ、常にプロフェッショナルを意識した音楽家の育成」に焦点を当てるため、世界で活躍する講師を招いてワークショップを開催致します。

【将来を見据えた芸術音楽文化の担い手となる人材を育成】

- ・オペラ上演を毎年継続的に行うことにより、舞台芸術に携わる様々な分野—舞台美術、コスチューム、ライティング、サウンドエフェクト、メイキャップ、ウィッグ、シューズ、演出家、指揮者、歌手、コーラス、器楽奏者、語学教育など—との相互協力関係を築き、多岐に渡る人材の育成や、システムを構築することを目標とします。
- ・外国の活動を模範としたカンボジアにおける高等音楽教育システムの構想・構築。既存の国内音楽団体と日本、ヨーロッパの団体が提携することで、芸術音楽公演のマネジメント能力の向上とユニバーサル化を促進致します。
- ・将来的には国内主導のオペラカンパニーや国を代表するオーケストラの設立を視野に入れており、今回の協力関係から得られる人脈により、それらの第一歩となるプラットフォームを構築致します。

プロジェクトメンバー・出演者



岩崎愛 (サントウツア)

プノンペン在住のオペラ歌手。昭和音楽大学大学院修了。当プロジェクトの制作統括。イタリアで研鑽を積み、現在カンボジア王立芸術大学音楽学部にて教鞭をとる。藤原歌劇団団員。



ヴィンチェンツォ・グリゾストミ・トラヴァリーニ (演出)

イタリア人オペラ演出家、音楽学者。日本には藤原歌劇団公演マクベス、ラ・ヴォーチェ公演ランメルモールのルチア等を演出、新国立劇場開場記念公演では芸術執行顧問として来日。

ラヴィヴァッダナ・モニポン・シソワット王子 (スーパーヴァイザー)

イタリア在住のカンボジア王国王子で、当プロジェクトのスーパーヴァイザー、及びステージディレクションコンサルタントを担ってくださいます。2010年からヴィンチェンツォ・グリゾストミ・トラヴァリーニ氏の芸術顧問として多くのオペラ作品の上演に携わり、2017年にはフィリピンマニラにてフィリピン、イタリア国交樹立70周年記念イベントにて、グリゾストミ氏と共にオペラ「愛の妙薬」の上演を成功に導かれました。



飯坂純 (指揮)

ヨーロッパで研鑽を積み、日本唯一のオペラ劇場で音楽スタッフとして勤務。オペラ公演におけるスペシャリストとして期待される指揮者。東京オペラ・プロデュース・メンバー。



クオン・セティサック (トゥリッドウ)

カンボジア人唯一のオペラ歌手。モスクワ・チャイコフスキー音楽院にて学ぶ。国内外でのコンサート、リサイタル等で活躍。またカンボジア王立芸術高校にて後進の指導に当たっている。カンボジアのオペラ界の担い手。

増原英也 (アルフィオ)

日本国内・外で活躍するバリトン歌手。東京芸術大学大学院修了、イタリア・パルマ音楽院首席卒業、二期会会員。



イー・マリネ (ローラ/28日)

カンボジア王立芸術大学在学中の若手ソプラノ歌手。主にカンボジアのクラシック音楽や、ノロドム・シハヌーク前国王作曲の歌などで活躍。今回はオペラに初挑戦。



前坂美希 (ローラ/29日)

京都府出身。国立音大卒業。伊・ボローニャ留学。06年FIFA-WORLD-CUPドイツ大会の決勝前夜祭にドイツ歴史博物館で歌唱。17年クアラルンプールの日本及び仏大使館主催の《国際平和のためのガラコンサート》元国王、皇太子、王女の御前にて演奏。東京オペラ・プロデュース・メンバー。



神内真理 (ルチア)

2006年夫の赴任に伴いカンボジアへ。21年間滞在したプノンペンで定期的なソロコンサートその他、カンボジア人や来カンボジアした各国の音楽家との共演を数多く行う。今年、2018年の2月に本帰国。大阪在住。

中石美里 (稽古ピアニスト)

国立音楽大学卒業。2014年よりプノンペン在住。ピアニスト、ピアノ講師、アレンジャーとして活躍。



これまでの活動

2018年5月24日～30日

プノンペンにて、ソリスト、指揮者、演出家、スーパーヴァイザーが集まり、第一回オペラワークショップが行われました。

王立芸術大学学生へのオペラアンサンブルワークショップ
世界で活躍する講師からの指導に真剣に耳を傾けていました。



ラヴィ王子、グリゾストミ氏、カンボジア王国シハモニ王を表敬訪問
オペラをこよなく愛されるシハモニ王様に当プロジェクトの趣旨を
ご説明いただきました。



プノンペン在住者による有志合唱団との合同稽古及びワークショップ
演出家、指揮者からのレクチャーで作品への理解が高まりました。
また稽古には王立芸術大学の学生も参加。本場のオペラの稽古現場に
立ち会う貴重な経験ができました。

堀之内秀久在カンボジア日本国大使と面会

日本カンボジア友好65周年記念事業でもある
当プロジェクトへの激励をいただきました。

カンボジア文化芸術大臣との面会

当プロジェクトの趣旨を良くご理解いただき
強力なサポートをお約束いただきました。



アンコールユースオーケストラ訪問

カンボジア唯一のユースオーケストラの練習に立ち会
いました。メンバーの中から選抜で当プロジェクトの
スペシャルオーケストラに参加していただきます。

今後の予定

2018年

カンボジアオペラプロジェクト2018 マスカーニ作曲「カヴァッレリア・ルスティカーナ」

9月15日～

第二回オペラワークショップ及びソリスト、合唱合同稽古

9月28日

プノンペンソフィテルホテルにて

オペラ「カヴァッレリア・ルスティカーナ」本番（文化芸術省による完全招待制の学生向け公演）

9月29日

プノンペンソフィテルホテルにて

オペラ「カヴァッレリア・ルスティカーナ本番」（一般向け公演）

2019年

カンボジアオペラプロジェクト2019 ペルゴレージ作曲「奥様女中」

5月

プノンペン市内にて

第三回オペラワークショップ

10月11日12日（予定）

プノンペン市内にて

第四回オペラワークショップ及びオペラ「奥様女中」本番

2020年

カンボジアオペラプロジェクト2020 プッチーニ作曲「蝶々夫人」

5月（予定）

プノンペン市内、及びシェムリアップにて

第五回オペラワークショップ及びオペラ「蝶々夫人」本番

11月（予定）

日本首都圏にて

カンボジアオペラプロジェクト「蝶々夫人」上演

2021年以降、オペラカンパニー、オーケストラの設立を視野に入れプロジェクトを続行